

第1回新居浜市航路改善協議会議事録

○日 時 令和8年4月23日（木） 13：30～14：00
○場 所 新居浜市役所 消防防災合同庁舎5階 会議室1
○出席者 協議会委員：9名
赤尾禎司会長、矢野秀綱委員、中山将希委員、赤松ルミカ委員、
福島史晃委員、阿部広明委員（代理）、後藤祥平委員、
松原広委員、吉岡奈津子委員

（欠席）なし

オブザーバー：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 2名

- ・事務局：石川課長、新元副課長、秋月係長
- ・傍聴者：3名

○会議次第

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 議 題
 - （1）航路改善協議会について
 - （2）市営渡海船事業の概要について
 - （3）「航路調査」及び「航路改善計画」について
 - （4）今後のスケジュール予定について
- 4 閉 会

【事務局】

ただ今から第1回新居浜市航路改善協議会を開催いたします。

委員の皆様方におかれましては、お忙しい中ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。まず、本会議の成立のご報告ですが、本日は、過半数の委員の皆さんにご出席をいただいておりますので、協議会設置要綱に基づき、本会が成立しますことをご報告いたします。

次に、本日の会議は、公開とさせていただきます。会議の開催結果につきましても、議事録などを公表することといたしておりますので、ご承知いただきますようお願いいたします。なお、本日の会議終了予定時刻は、14時30分を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

では、議題の協議に入ります前に、本日は、本協議会を設立して初めての会議になりますので、委員の皆様にご自己紹介をいただきたく存じます。それでは、副市長から願います。

ありがとうございました。続きまして、本日、オブザーバーとして JR 鉄道・運輸機構よりご参加いただいております。よろしくお願いいたします。

引き続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、これより議事に入りますので、ここからの進行は、会長にお願いいたします。

【会長】

本日は、皆様、御多忙のところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

当協議会は、市営渡海船を持続的に運営するための方策等を盛り込んだ「航路改善計画」策定に向けた協議を行うため、今年度、新たに設立した協議会でございます。協議会設置要綱の規定によりまして、私が当協議会の会長となり、議事の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。本日の会議におきましては、この後、事務局より渡海船事業の概要や今年度の事業予定などを説明させていただき、ご協議をいただくこととなっておりますが、会議の円滑な運営に努めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは早速ではございますが、議題の協議にはいらさせていただきます。一つ目の議題「航路改善協議会」につきまして、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

本日は、航路改善協議会を設立して初めての会議開催になりますので、まずは、この協議会の設立趣旨等についてご説明させていただきます。資料の1ページ、2ページをご覧ください。この資料は、市が定めた「新居浜市航路改善協議会設置要綱」になります。この協議会の設置目的は、第1条の冒頭に記載していますとおり、「大島～黒島航路の課題を把握及び分析し、航路及び航路経営の将来見通し、運営の改善方策等について検討することにより、持続可能な運航形態についての、住民、航路事業者等関係者との合意形成を図る」ことを目的としております。もう少しわかりやすく言い換えますと、「市営渡海船事業を将来的にも安全に、安定して運営するために、渡海船事業の課題やその改善策について協議していただき、新しい船舶に更新することも含めまして、今後、実施していくべき改善の取組の方向性について、大島住民を代表して委員になられている方をはじめ、渡海船事業の運営に係る組織等を代表して委員にご就任いただいた皆さんで合意形成を図りたい」というのが会の設立目的となります。次に、協議会の所掌事項としましては、要綱第2条に記載のとおり、一つは、「航路の航路経営診断等による課題の把握及び分析に関す

ること」、二つ目は、「航路改善計画の策定に関すること」、その他、「協議会の目的を達成するために必要な事項」について所掌することとしております。所掌事項の具体的な内容につきましては、この後の議題の中で改めて説明させていただきます。協議会設置要綱第3条以降につきましては、協議会の運営に必要な事項を定めておりますが、説明は省略させていただきますので、後ほどお目通しいただきますようお願いいたします。協議会の説明につきましては、以上でございます。

【会長】

ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。特にないようでしたら、ただいま説明のありました当協議会の設置目的を達成するため、皆様のご協力をお願いいたします。

続きまして、二つ目の議題「市営渡海船事業の概要」につきまして、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料3ページをご覧ください。まず、「航路の概要」についてです。大島～黒島航路は、大島住民の通院や買い物などの交通手段として、また、生活物資の輸送手段として必要不可欠な生活航路となっています。しかしながら、島民の減少に伴う利用料収入の減少や船舶の老朽化による整備費用の増大により、厳しい経営状況となっています。営業距離は、大島港と黒島港を繋ぐ約2.5kmとなっており、15分で結んでいます。1日の運航は、6時20分大島発第1便から21時40分大島着第13便までの13便運航しており、始発・終着は共に大島港となっています。また、運賃は、大人60円、軽自動車500円となっています。

次に、「使用船舶」についてです。船舶は、「くろしま」と「おおしま7」の2隻を所有しており、「くろしま」は、総トン数が19トン、車両積載数は6台、旅客定員は169人、最低乗船船員数は2人、経過年数22年の船となります。「おおしま7」は、総トン数が188トン、車両積載数は8台、旅客定員は146人、最低乗船船員数は3人、経過年数14年の船となります。通常、使用する船舶は、朝の1便、2便と夜の11便から13便までは「くろしま」で運航し、3便から10便までは「おおしま7」で運航しています。ただ、ご承知の皆さんが多いと思いますが、昨年11月に「おおしま7」が故障し、まだ修繕が完了していませんので、現在は、終日「くろしま」で運航しております。そのような状況ではありますが、表の下に記載してありますとおり、「くろしま」につきましては、耐用年数を大きく経過しており、近年、故障による欠航日数が増加し、船の修繕費用も増加しており、事業運営上の大きな課題となっております。その下の表をご覧ください。「くろしま」の欠航日数とドック費用について表しています。就航から10年程の平成26年には、欠航日数はなく、ドック費用も500万円余り程でしたが、近年は、欠航日数が増加しており、ドックに要する費用も3倍程度に増加している状況となっています。安定した運航を行い、無駄な支出を削減するためには、船舶更新の必要性が感じられる状況となっています。

次に、「住基人口と渡海船利用者数の動向及び予測」についてです。市全体の住基人口は、毎年、約1%ずつ減少しており、令和7年1月1日現在では、112,724人となっています。大島の人口は、令和7年には129人となっていますが、市全体の人口減少よりも速いペースで、年数パーセントの割合で減少が続いており、今から5年後の令和13年には100人を下回るものと予測されます。渡海船の利用者数につきましても、大島の人口の減少率よりは若干緩やかではありますが、減少傾向が続いており、今後も減少が見込まれております。

次に、資料4ページをご覧ください。「経営状況」についてです。令和6年度の事業に要した費用の決算額は、歳入、歳出ともに175,705千円で、歳入の内訳比率としましては、「料金収入」が7.1%、「国庫補助金」が34.5%、「県補助金」が25.5%、「市繰入金」が32.1%、「雑入」が0.8%となっており、国や県の補助金に大きく依存した形となっております。歳出につきましては、職員人件費の比率が最も高く、歳出総額の6割弱を占めています。その他の主な支出としましては、燃料費や船舶整備委託料が主な支出となっています。渡海船事業の概要につきましては以上でございます。

【会長】

ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。特になければ、次の議題に移りたいと思います。

それでは、三つ目の議題「航路調査及び航路改善計画について」と、四つ目の議題「今後のスケジュール予定」につきまして、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料5ページをご覧ください。市といたしましては、今年度、民間事業者へ事業委託して「航路調査」を実施し、「航路改善計画」を策定したいと考えておりますので、それぞれの内容について説明させていただきます。まず、「航路調査」についてです。「航路調査」は、「航路改善計画」を作成するための基礎資料を得ることを目的として実施するもので、その主な実施内容としましては、一つは、既存データの収集、分析です。具体的なデータ例としましては、人口や渡海船利用状況、運航状況、収支状況などのデータを収集し、現状分析と将来予測を行います。また、利用者アンケートを実施し、既存データでは把握できない利用状況や要望などを把握し、結果の分析を行います。この既存データと利用者アンケートから得られた結果から、航路の課題を明確にし、課題の改善策を提案する、という事業が「航路調査」になります。

次に、「航路改善計画」につきましては、「航路調査」により得られた結果や「航路改善協議会」における皆様のご意見を踏まえ、「航路運営、収支面における現状及び将来予測」や「現状分析と将来予測から明らかとなる課題」、「課題についての改善策」などをとりまとめた計画書を作成し、計画の策定後は、計画に掲げた内容を指針とし、将来に向けて持続可能な事業運営を行っていきたいと考えております。なお、他の航路での航路改善計画において課題改善策として記載されている例としましては、老朽化した船舶を更新し、安全な運航と収支改善を図ることであったり、「適切な人員体制の検討」、「運航便数の適正化」、「運賃水準の検討」、「利用者サービスの向上」などが記載されております。

次に、今後のスケジュール予定について説明いたします。本日の会議におきまして、航路調査の実施と航路改善計画の策定について皆様のご承認をいただければ、この委託事業につきましては、国の補助金を活用して実施したいと考えておりますので、補助金の申請を行います。その後、国の補助金の交付決定を受けましたら委託事業者の選定に着手しまして、6月頃から調査事業を実施し、10月頃には航路の課題と改善策について、受託事業者において概要をまとめていただく予定としております。調査結果の取りまとめができましたら、11月には、第2回航路改善協議会を開催し、航路調査により明らかとなった課題や、その改善方針について協議していただき、持続可能な航路として運営していくための改善方針について、委員の皆様の合意を図りたいと考えております。もし、第2回会議で提示する案について合意が得られず、大きな修正や変更を要する場合には、第3回の協議会を年内に開催し、来年の1月には「航路改善計画」を策定したいと考えております。なお、一つ目の議題で申し上げました通り、当協議会の設置目的は、持続可能な運

航形態について、関係者の合意を図ることありますので、皆さんの合意をいただいて「航路改善計画」を策定できれば、概ね当協議会の目的は達成されるところでございますが、もし、計画策定後も、協議や重要な報告が必要となる事案が生じた場合には、協議会を開催させていただく場合が考えられますので、ご承知おきいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【会長】

ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

【委員】

他の航路での改善策の事例の中で、「船舶の更新」や「運賃水準の検討」等の説明がありましたが、船舶を新しく建造されとなったら、利用者の方の利便性の向上が見込まれるというような面もあったりすると思いますので、昨今の燃油価格高騰の状況等も踏まえながら、運賃の改定というのも検討の視野に入れて進めていただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】

ご意見いただいた点も踏まえまして、航路改善計画をまとめていきたいと思っております。

【会長】

その他にご意見がないようでしたら、「航路調査の実施」と「航路改善計画の策定」を今年度実施するという事で、ご承認いただけますでしょうか。

それでは、今年度、このようなスケジュールで航路調査と航路改善計画の策定をしていきますので、よろしくお願いいたします。

予定しておりました議題は以上でございますが、その他、各委員の皆様方から、何かご意見や参考になるお話などがございましたら、ご発言をお願いいたします。

【委員】

本日、早めに来て船に乗らせていただきました。確かに船がちょっと古いというのは否めないと思いますので、早く船を造って、島民の皆さんにバリアフリーの船に乗っていただければいいと思いますが、他の航路では、協議会は3回くらい実施していると思いますが、2回で足りますか。

【事務局】

第2回目の協議会では、改善策の具体的な提案をさせていただく予定としていますので、そこで皆さんに合意していただければ、2回の開催となることもあり得と考えております。

【委員】

航路改善の協議をするとなると、それぞれの利害関係もあると思いますが、将来に向けてどういうインフラを残していくか、という観点で検討していただければ良いかと思います。私もそのような観点で協力できることはご提示させていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【オブザーバー】

資料の「くろしま」の欠航日数を見ますと、年間247日運航できなかったということは、なかなかここまで長い間止まることは少ないと思うので、かなり無理がきているという感じに見えます。また、船価も非常に高騰しており、修繕費もかなり高くなってまいりました。さらにはドックの予約も難しい状況になってきています。

もし、新しい船に入れ替えるということになりましたら、我々もご協力させていただい

て、より良い船のご提案をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【会長】

次回は、11月頃に、航路調査の結果を基にご協議いただきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

それでは本日の会議をこれで終了いたします。本日は、どうもありがとうございました。